世話人会

8:50 ～ 9:20
第 1 会場（8F Room C01 + C02）

ランチョンセミナー

12:10 ～ 13:10

ランチョンセミナー1　第 1 会場（8F Room C01 + C02）

講演Ⅰ　MG 病態から考える分子標的薬の使いどころ

演　者：京都大学医学部附属病院　脳神経内科　特定講師　木村　公俊

講演Ⅱ　CIDP 治療の新たな選択肢―FcRn 阻害薬をどう活かすか―

演　者：国立精神・神経医療研究センター病院　脳神経内科　副部長　岡本　智子

座　長：関西医科大学総合医療センター　脳神経内科　准教授　藤井ちひろ
滋賀医科大学　脳神経内科学講座　准教授　山川　勇

共催：　アルジェニクスジャパン株式会社

ランチョンセミナー2　第 2 会場（8F Room C03 + C04）

講演Ⅰ　ひろがる gMG 抗 C5 療法の可能性

演　者：大阪大学保健学専攻生体病態情報科学 臨床神経生理学　准教授　久保田智哉

講演Ⅱ　NMOSD 診療の変化と長期治療戦略

演　者：神戸大学内科学講座　神経内科学　教授　千原　典夫

座　長：和歌山県立医科大学　脳神経内科学　准教授　中山　宜昭

共催：アレクシオンファーマ合同会社

ランチョンセミナー3　第 3 会場（8F Room 05）

講演Ⅰ　C5 阻害薬から考える MG 治療戦略

演　者：　奈良県立医科大学　脳神経内科学　教授　杉江　和馬

講演Ⅱ　抗体制御が変える重症筋無力症治療：病態メカニズムの理解と FcRn 阻害療法の可能性

演　者：JCHO 大阪病院　脳神経内科　診療部長　髙田　和城

座　長：大阪大学 保健学専攻 生体病態情報科学講座 臨床神経生理学 教授　髙橋　正紀

共催：ユーシービージャパン株式会社

スイーツセミナー

14:05 ～ 14:55

スイーツセミナー1　　第 1 会場（8F Room C01 + C02）

アイマービー　Beyond the cycle　持続型 FcRn 阻害の新戦略

演　者：和泉市立総合医療センター　脳神経内科　部長　　濱田　征宏

座　長：和歌山県立医科大学　脳神経内科学　准教授　　中山　宜昭

共催：J&J　ヤンセンファーマ株式会社

スイーツセミナー2　　第 2 会場（8F Room C03 + C04）

NMOSD の治療戦略に必要な BBB の考え方

演　者：山口大学医学部　神経・筋難病治療学　教授／血液脳神経関門
先進病態創薬研究講座　研究代表　　竹下　幸男

座　長：関西医科大学総合医療センター　脳神経内科　准教授　　藤井　ちひろ

共催：中外製薬株式会社

スイーツセミナー3　　第 3 会場（8F Room C05）

アルツハイマー病の病態に基づくレケンビ治療
―継続治療の意義と PEN 製剤への期待―

演　者：　大阪公立大学　脳神経内科学　講師　　武田　景敏

座長：　和歌山ろうさい病院　脳神経内科　部長　　中西　一郎

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

教 育 セミナー

15:30 ～ 16:30

教育セミナー　　第 1 会場（8F Room C01 + C02）

補体から考える神経免疫疾患

演　者：和歌山県立医科大学　分子遺伝学　教授
井上　徳光

座　長：和歌山県立医科大学　脳神経内科学　教授
宮本　勝一

第 1 会場　演者・座長一覧

時間帯	番号	発表者名	所属	演題名	セッション名	座長（所属）
8:50 〜9:20	世話人会					
9:30 〜 10:15	A-01	藤田　知美	西宮協立脳神経外科病院 神経内科	めまい、嘔気で発症bow hunter症候群の一例	血管障害	齋藤こずえ（奈良県立医科大学 脳神経内科）
	A-02	篠田　奈央	済生会滋賀県病院脳神経内科	血管内治療にて右上肢挙上困難・上肢跛行が改善した右鎖骨下動脈起始部狭窄症の一例		
	A-03	大村　晃太郎	兵庫県立丹波医療センター内科	味覚障害で発症した橋梗塞の1例		
	A-04	横内　聡	国立循環器病研究センター 脳血管内科	4D flow MRIによる塞栓経路の可視化とTCDによる治療反応を評価した大動脈原性脳塞栓症の1例		
	A-05	栗本　淳	国立循環器病研究センター 脳神経内科	左総頸動脈狭窄に対するステント留置術後に生じた遅発性ステント内血栓症の一例		
10:20 〜 11:05	A-06	米澤　岳輝	関西医科大学 神経内科学講座	幼少期の脊髄手術から37年後に反復性皮質梗塞・脳出血で発症した脳アミロイドアンギオパチーの1例	若手奨励賞候補演題（内科専攻医）1	杉江　和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科） 永井　義隆（近畿大学 脳神経内科）
	A-07	高橋　昂暉	神鋼記念病院	イベルメクチン脳症が疑われた1例		
	A-08	土井　志保里	大阪医科薬科大学 内科学4教室 脳神経内科	MYRF遺伝子にp.Q403R変異を認めたMERS2型の一家系		
	A-09	冨田　征良	滋賀医科大学 脳神経内科学講座	原発性中枢神経血管炎との鑑別を要しHTRA1 c.754G＞A（p.Ala252Thr）ヘテロ接合変異を同定した再発性脳梗塞の一例		
	A-10	福永　葵	兵庫県立加古川医療センター 脳神経内科	進行性の四肢筋力低下を呈し，発症30年後の筋生検で診断に至ったポリグルコサン小体ミオパチーの1例		
11:10 〜 11:55	A-11	池側　佑哉	一般財団法人住友病院 脳神経内科	Pull-back法による血栓吸引と緊急ステント留置が有効であった頭蓋内動脈解離の一例	若手奨励賞候補演題（内科専攻医）2	漆谷　真（滋賀医科大学 脳神経内科） 千原　典夫（神戸大学 脳神経内科）
	A-12	島田　遥生	神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科	基底核と小脳歯状核優位に病理学的変化を認めた肺小細胞癌合併傍腫瘍性抗amphiphysin抗体関連脳炎の1剖検例		
	A-13	足立　沙瑛子	パナソニック健康保険組合 松下記念病院	進行性の認知機能障害で発症し、経過中に橋DWI高信号を呈した成人発症2型シトルリン血症（CTLN2）の一例		
	A-14	上田　晃	大阪公立大学医学部附属病院 脳神経内科	*KMT2B* 遺伝子に新規 *de novo* ナンセンスバリアントを認め，脳深部刺激療法が有効であった小児期発症ジストニアの1例		
	A-15	星野　玄樹	近畿大学 医学部 脳神経内科	視床下部障害を呈した乳癌によるRi抗体陽性傍腫瘍性脳炎の1例		
12:10 〜 13:10	LS1	ランチョンセミナー 1 講演 I　MG病態から考える分子標的薬の使いどころ　木村　公俊（京都大学医学部附属病院 脳神経内科） 講演 II　CIDP治療の新たな選択肢―FcRn阻害薬をどう活かすか―　岡本　智子（国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科） 座長：藤井ちひろ（国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科）、山川　勇（滋賀医科大学 脳神経内科学講座） 共 催： アルジェニクスジャパン株式会社				
13:20 〜 13:56	A-16	山田　茜	淡海医療センター 脳神経内科	レカネマブ治療の経過中に生じたレム期睡眠行動異常症によりレビー小体型認知症併発が示唆されたアルツハイマー型認知症の一例	変性	葛谷　聡（宇多野病院 脳神経内科）
	A-17	戸田　真太郎	京都桂病院 脳神経内科	免疫療法で改善、再増悪のパターンを繰り返した、球型筋萎縮性側索硬化症の一例		
	A-18	前田　健一郎	大阪刀根山医療センター 脳神経内科	臨床的に大脳皮質基底核症候群と診断されたが、病理学的に進行性核上性麻痺であった一例		
	A-19	和田　悠作	大阪大学医学部附属病院 脳神経内科	長期間にわたり振戦様運動が前景に立ったDYT-*TOR1A*の1例		
14:05 〜 14:55	SS1	スイーツセミナー1 アイマービー　Beyond the cycle　持続型FcRn阻害の新戦略 演者：濱田　征宏（和泉市立総合医療センター 脳神経内科） 座長：中山　宜昭（和歌山県立医科大学 脳神経内科学） 共 催： J&J ヤンセンファーマ株式会社				
15:05〜15:25	若手奨励賞　表彰式					
15:30 〜 16:30		教育セミナー 補体から考える神経免疫疾患 演者：井上　徳光（和歌山県立医科大学 分子遺伝学） 座長：宮本　勝一（和歌山県立医科大学 脳神経内科学）				

第 2 会場　演者・座長一覧

時間帯	番号	発表者名	所属	演題名	セッション名	座長（所属）
9:30〜10:15	B-01	國貞　友梨	加古川中央市民病院 脳神経内科	エフガルチギモド皮下注製剤が有効であった抗Neurofascin155抗体陽性自己免疫性ノドパチーの一例	末梢神経障害・MG	三井　良之（近畿大学 脳神経内科）
	B-02	長澤　開	京都府立医科大学　脳神経内科	免疫グロブリン静注療法にステロイドパルス療法追加し症状改善を認めたギラン・バレー症候群の1例		
	B-03	波多野 かれん	神戸市立西神戸医療センター	抗GT1a IgM抗体単独陽性を認め、頸部・上肢痛を伴った急性感覚性失調性ニューロパチーの1例		
	B-04	滋賀　健介	松下記念病院 脳神経内科	アクティブタッチ（能動的触知覚）の障害を呈した急性感覚失調性ニューロパチーの1例		
	B-05	横井　秀平	医学研究所　北野病院 脳神経内科	胸腺腫合併重症筋無力症の増悪時に薬疹様皮疹で発症した胸腺腫関連多臓器自己免疫（TAMA）の一例		
10:20〜11:05	B-06	都　大哉	北播磨総合医療センター 脳神経内科	flip-flop phenomenonを機序に繰り返す脳梗塞を経験した1例	若手奨励賞候補演題（初期研修医・学生）1	中森　雅之（大阪大学　神経内科） 木村　卓（兵庫医科大学 脳神経内科）
	B-07	古市　絢菜	京都第二赤十字病院 教育研修推進室	外来維持療法中の再増悪を契機に進行大腸癌が判明した抗MuSK抗体陽性重症筋無力症の1例		
	B-08	高橋　誠司	京都大学　医学部　附属病院	肺腺癌長期寛解後に多発脳神経障害を呈した中枢神経系転移の1例		
	B-09	大澤　暉	近江八幡市立総合医療センター 臨床研修センター	小脳失調が主症状であった進行性核上性麻痺の1剖検例		
	B-10	金澤　匠眞	大阪市立総合医療センター 脳神経内科	慢性炎症性脱髄性多発神経炎の再発に肺腺癌の関与が疑われた1例		
11:10〜11:55	B-11	近藤　毅	大津赤十字病院　卒後臨床研修センター	抗血小板薬とスタチンが奏効した脳低灌流に伴う右下肢choreaの一例	若手奨励賞候補演題（初期研修医・学生）2	伊藤　義彰（大阪公立大学 脳神経内科） 尾原　知行（京都府立医科大学 脳神経内科）
	B-12	河本　由希	京都大学医学部附属病院 脳神経内科	片側核間性眼筋麻痺、対側滑車神経麻痺、両側眼瞼下垂から病巣局在を解読した中脳梗塞の1例		
	B-13	宮本　卓弥	公立甲賀病院	偽性尺骨神経麻痺を呈した左中心溝周囲の急性期脳梗塞の一例		
	B-14	今井　傑人	京都大学　医学部5回生	17年の長期経過で呼吸筋麻痺に至った孤発性Parkinson-ALS複合（Brait-Fahn-Schwartz disease）の一例		
	B-15	藤岡　晃平	堺市立総合医療センター 脳神経内科	脊髄炎との鑑別を要した頭蓋頚椎移行部硬膜動静脈瘻の1例		
12:10〜13:10	LS2	ランチョンセミナー 2 講演 I　ひろがるgMG抗C5療法の可能性　久保田智哉（大阪大学 保健学専攻生体病態情報科学 臨床神経生理学） 講演 II　NMOSD診療の変化と長期治療戦略　千原　典夫（神戸大学 内科学講座 神経内科学） 座長：中山　宜昭（和歌山県立医科大学　脳神経内科学） 共 催：アレクシオンファーマ合同会社				
13:20〜13:56	B-16	堀　昂平	和歌山県立医科大学 脳神経内科	LMNA遺伝子p.(K515Sfs*35)変異によるラミノパチーが疑われた1例	筋・腫瘍	松村　剛（大阪刀根山医療センター 脳神経内科）
	B-17	山崎　真	滋賀医科大学　医学部 脳神経内科学講座	呼吸筋麻痺を主症状とし孤発性成人発症ネマリンミオパチーの合併も考慮した多発性骨髄腫関連アミロイドミオパチーの1例		
	B-18	赤澤　伸司	神戸市立西神戸医療センター 脳神経内科	近位筋力低下と首下がりを呈した成人発症グルタル酸血症2型の1例		
	B-19	金井　柾也	（独）労働者健康安全機構　関西労災病院　脳神経内科	脳生検で診断しえた血管内大細胞型B細胞リンパ腫（IVLBCL）の一例		
14:05〜14:55	SS2	スイーツセミナー2 NMOSDの治療戦略に必要なBBBの考え方 演者：竹下　幸男（山口大学医学部　神経・筋難病治療学／血液脳神経関門先進病態創薬研究講座） 座長：藤井　ちひろ（関西医科大学総合医療センター　脳神経内科） 共 催：中外製薬株式会社				

第 3 会場　演者・座長一覧

時間帯	番号	発表者名	所属	演題名	セッション名	座長（所属）
9:30〜10:15	C-01	高木　淳裕	堺市立総合医療センター 脳神経内科	自己免疫性視神経障害と鑑別を要した乳頭炎型Vogt-小柳-原田病の1例	炎症性疾患	三枝　隆博（大阪市立総合医療センター　脳神経内科）
	C-02	馬野　知雛	京都第一赤十字病院 脳神経脳卒中科	左頚静脈孔周囲占拠性病変によりCollet Sicard症候群を呈した一例		
	C-03	藤井　涼平	神戸大学大学院医学系研究科 脳神経内科学	非全身性血管炎性ニューロパチーの診断5年後に脳梗塞を繰り返した顕微鏡的多発血管炎の1例		
	C-04	貝沼　美夏	神戸大学大学院医学系研究科 脳神経内科学	頚椎症を背景に急速に神経症状が増悪した脊髄サルコイドーシスの1例		
	C-05	阪口　和希	京都岡本記念病院	FDG-PET/CTで検出された骨病変の生検により診断した神経サルコイドーシスの1例		
10:20〜11:05	C-06	鈴木　逸太	兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経内科	多発脳病変の出現と消失を繰り返し、免疫療法で改善の得られた抗gamma aminobutyric acid（GABA）A受容体抗体脳炎の一例	脳炎・脳症1	武田　景敏（大阪公立大学 脳神経内科）
	C-07	三宅　麻友	市立豊中病院　脳神経内科	血漿交換療法が奏効した抗GABA-B受容体抗体陽性辺縁系脳炎の一例		
	C-08	林　亮佑	市立東大阪医療センター	アナキンラが奏功したCryptogenic new-onset of refractory status epilepticus (C-NORSE)の一例		
	C-09	清水　大輝	国立病院機構　大阪医療センター	リツキシマブ導入後に著明な改善を認めた新規発症難治性てんかん重積状態(C-NORSE)の1例		
	C-10	日野　嵩仁	滋賀県立総合病院	構音障害を呈したレジオネラ肺炎に伴う可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症の1例		
11:10〜11:55	C-11	山中　大輔	兵庫医科大学病院　脳神経内科	胸腺腫合併重症筋無力症に自己免疫性脳炎を合併した1例	脳炎・脳症2	関口　兼司（神戸大学 脳神経内科）
	C-12	山野　敏基	大阪けいさつ病院　脳神経内科	脳炎様症状で発症し，急性期にArterial Spin Labeling(ASL)で血流の変動を認めた神経核内封入体病の1例		
	C-13	坂東　美樹	兵庫県立はりま姫路総合医療センター　脳神経内科	アルコール依存症患者においてビタミンB1、B12補充下で発症したペラグラ脳症の一例		
	C-14	青木　陽平	新宮市立医療センター 脳神経内科	意識障害と両上肢不随意運動を繰り返し診断に苦慮した1例		
	C-15	奥田　健太	神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科	進行性認知機能低下とびまん性白質病変を呈したHIV関連認知症と脳アミロイドアンギオパチーの一例		
12:10〜13:10	LS3	ランチョンセミナー3 講演Ⅰ　C5阻害薬から考えるMG治療戦略　　杉江　和馬（奈良県立医科大学　脳神経内科学） 講演Ⅱ　抗体制御が変える重症筋無力症治療：病態メカニズムの理解とFcRn阻害療法の可能性 髙田　和城（JCHO大阪病院　脳神経内科） 座長：髙橋　正紀（大阪大学保健学専攻 生体病態情報科学講座　臨床神経生理学） 共 催：ユーシービージャパン株式会社					
13:20〜13:56	C-16	清家　尚彦	兵庫県立はりま姫路総合医療センター　脳神経内科	多発脳神経障害，点状脳梗塞で発症し，治療抵抗性に増悪した侵襲性アスペルギルス症の1例	感染症・自律神経	松井　大（大津赤十字病院 脳神経内科）
	C-17	杉田　希美香	兵庫県立西宮総合医療センター 脳神経内科	遅発性髄液圧上昇が先行した*Cryptococcus*髄膜炎後PIIRSの1例		
	C-18	北村　悠真	北播磨総合医療センター　臨床研修センター	グリコピロニウムトシル酸塩水和物ワイプの不適切使用により片側散瞳をきたした一例		
	C-19	松野　泰幸	北播磨総合医療センター　脳神経内科	進行耳下腺癌に伴う起立性低血圧による失神に放射線治療が有効であった1例		
14:05〜14:55	SS3	スイーツセミナー3 アルツハイマー病の病態に基づくレケンビ治療―継続治療の意義とPEN製剤への期待― 演者：武田　景敏（大阪公立大学　脳神経内科学） 座長：中西　一郎（和歌山ろうさい病院　脳神経内科） 共 催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社				

第 1 会場

血管障害

座長：斎藤　こずえ
（奈良県立医科大学　脳神経内科）

9:30～10:15

A-01　めまい、嘔気で発症 bow hunter 症候群の一例

○藤田　知美[1], 中嶋　匡[1], 徳永　隆司[1], 大村　知久[2], 山田　佳孝[2], 立花　久大[1]
[1]西宮協立脳神経外科病院　神経内科 [2]西宮協立脳神経外科病院　脳神経外科

A-02　血管内治療にて右上肢挙上困難・上肢跛行が改善した右鎖骨下動脈起始部狭窄症の一例

○篠田　奈央, 武澤　秀理, 長　正訓, 安藤　あい, 河野　仁, 深沢　良輔, 中島　大輔, 藤井　明弘
済生会滋賀県病院脳神経内科

A-03　味覚障害で発症した橋梗塞の 1 例

○大村　晃太郎, 大塚　喜久
兵庫県立丹波医療センター内科

A-04　4D flow MRI による塞栓経路の可視化と TCD による治療反応を評価した大動脈原性脳塞栓症の 1 例

○横内　聡[1,2], 新垣　慶人[1], 中澤　己都美[1,2], 阿部　貴文[1,2], 殿村　修一[2], 猪原　匡史[2], 古賀　政利[1]
[1]国立循環器病研究センター　脳血管内科 [2]同　脳神経内科

A-05　左総頸動脈狭窄に対するステント留置術後に生じた遅発性ステント内血栓症の一例

○栗本　淳[1], 山口　枝里子[1], 藤原　悟[1], 安東　孝記[1], 斎藤　こずえ[1,2], 福間　一樹[1], 石山　浩之[1], 殿村　修一[1], 千葉　哲矢[1], 齊藤　聡[1], 服部　頼都[1], 小倉　健紀[3], 大川　将和[3], 猪原　匡史[1]
[1]国立循環器病研究センター　脳神経内科 [2]奈良県立医科大学　脳神経内科・脳卒中センター
[3]国立循環器病研究センター　脳神経外科

若手奨励賞候補演題（内科専攻医） 1

座長：杉江　和馬
（奈良県立医科大学　脳神経内科）

永井　義隆
（近畿大学医学部　脳神経内科）

10:20～11:05

A-06　幼少期の脊髄手術から 37 年後に反復性皮質梗塞・脳出血で発症した脳アミロイドアンギオパチーの 1 例

○米澤　岳輝[1], 銅山　達哉[1], 池田　宗平[1], 森勢　諭[1], 村上　綾[1], 政井　奎祐[4], 埜中　正博[2], 高橋　牧郎[3], 藥師寺　祐介[1]
[1]関西医科大学　神経内科学講座 [2]同　脳神経外科学講座 [3]同　神経難病医学講座
[4]兵庫県立はりま姫路総合医療センター　脳神経外科

A-07　イベルメクチン脳症が疑われた 1 例

○高橋　昂暉, 中村　航大, 亀井　隆史, 増田　光輝, 高橋　正年
神鋼記念病院

A-08　MYRF 遺伝子に p.Q403R 変異を認めた MERS2 型の一家系

○土井　志保里[1], 中村　善胤[1], 倉橋　宏和[2], 伊藤　大樹[4], 細川　隆史[1], 奥村　彰久[2,3], 荒若　繁樹[1]
[1]大阪医科薬科大学　内科学 4 教室　脳神経内科 [2]愛知医科大学　医学部　小児科
[3]順天堂大学　医学部　小児科 [4]天理よろづ相談所病院　脳神経内科

A-09　原発性中枢神経血管炎との鑑別を要し HTRA1 c.754G>A（p.Ala252Thr）ヘテロ接合変異を同定した再発性脳梗塞の一例

○冨田　征良, 畑　俊嘉, 田村　亮太, 矢端　博行, 塚本　剛士, 小橋　修平, 玉木　良高, 小川　暢弘, 山川　勇, 漆谷　真
滋賀医科大学　脳神経内科学講座

A-10　進行性の四肢筋力低下を呈し，発症 30 年後の筋生検で診断に至ったポリグルコサン小体ミオパチーの 1 例

○福永　葵[1], 下村　雅浩[1], コントン　プォ―ラナット[1], 土田　愛[1], 高原　佳央里[1], 一角　朋子[1], 吉原　良祐[2], 西野　一三[3], 奥田　志保[1]
[1]兵庫県立加古川医療センター　脳神経内科 [2]兵庫県立加古川医療センター　リウマチ科
[3]国立精神・神経医療研究センター神経研究所　疾病研究第一部

若手奨励賞候補演題（内科専攻医） 2

座長：漆谷　真
（滋賀医科大学　脳神経内科）

千原　典夫
（神戸大学　脳神経内科）

11:10～11:55

A-11　Pull-back 法による血栓吸引と緊急ステント留置が有効であった頭蓋内動脈解離の一例

○池側　佑哉[1,2], 柴田　益成[1,2], 中村　敬[1,2], 黒田　健仁[1,2], 濱田　雄一[1]
[1]一般財団法人住友病院　脳神経内科 [2]同　脳卒中・脳血管内治療室

A-12　基底核と小脳歯状核優位に病理学的変化を認めた肺小細胞癌合併傍腫瘍性抗 amphiphysin 抗体関連脳炎の 1 剖検例

○島田　遥生[1], 吉村　元[1], 井上　貴美子[2], 川本　未知[1]
[1]神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科 [2]大阪刀根山医療センター　脳神経内科

A-13　進行性の認知機能障害で発症し、経過中に橋 DWI 高信号を呈した成人発症 2 型シトルリン血症（CTLN2）の一例

○足立　沙瑛子, 田邑　愛子, 滋賀　健介
パナソニック健康保険組合　松下記念病院

A-14　*KMT2B* 遺伝子に新規 *de novo* ナンセンスバリアントを認め，脳深部刺激療法が有効であった小児期発症ジストニアの 1 例

○上田　晃[1], 坂口　裕香[1], 辻　浩史[1], 堀田　純子[2], 瀬戸　俊之[2], 川嶋　俊幸[3], 後藤　剛夫[3], 伊藤　義彰[1]
[1]大阪公立大学医学部附属病院　脳神経内科 [2]大阪公立大学医学部附属病院　ゲノム診療科
[3]大阪公立大学医学部附属病院　脳神経外科

A-15　視床下部障害を呈した乳癌による Ri 抗体陽性傍腫瘍性脳炎の 1 例

○星野　玄樹[1], 渡部　瑛惠[1], 久富　隆寛[1], 名村　仁志[1], 寺山　敦之[1], 吉川　恵輔[1], 寒川　真[1], 桑原　基[1], 西郷　和真[1], 平野　牧人[1], 三井　良之[1], 吉田　左和[2], 武友　保憲[2], 眞鍋　弘暢[3], 合田　ゆう子[4], 宍戸原　由紀子[4], 小澤　実那[5], 金村　宙昌[5], 永井　義隆[1]
[1]近畿大学　医学部　脳神経内科 [2]同　内分泌・代謝・糖尿病内科 [3]同　外乳腺内分泌外科
[4]同　病理診断科 [5]同　腫瘍内科

変性

座長：葛谷　聡
（宇多野病院　脳神経内科）

13:20～13:56

A-16　レカネマブ治療の経過中に生じたレム期睡眠行動異常症によりレビー小体型認知症併発が示唆されたアルツハイマー型認知症の一例

○山田　茜, 西田　知弘, 阪上　芳男
淡海医療センター　脳神経内科

A-17　免疫療法で改善、再増悪のパターンを繰り返した、球型筋萎縮性側索硬化症の一例

○戸田　真太郎[1], 山本　康正[1], 真田　悠希[1], 和田　一孝[3], 立岡　悠[1], 山田　真人[1], 松井　真[4]
[1]京都桂病院　脳神経内科 [2]京都大学　脳神経内科 [3]高の原中央病院　脳神経内科
[4]金沢医科大学　脳神経内科

A-18　臨床的に大脳皮質基底核症候群と診断されたが、病理学的に進行性核上性麻痺であった一例

○前田　健一郎[1], 井上　貴美子[1], 齋藤　朋子[1], 山寺　みさき[1,2], 樽谷　愛理[3], 村山　繁雄[4], 望月　秀樹[1]
[1]大阪刀根山医療センター　脳神経内科 [2]大阪刀根山医療センター　病理診断科
[3]東京都医学総合研究所　臨床医科学研究分野
[4]大阪大学大学院連合小児発達学研究科　ブレインバンク・バイオリソース部門

A-19　長期間にわたり振戦様運動が前景に立った DYT-*TOR1A* の 1 例

○和田　悠作, 伊藤　舞, 山村　良平, 大薗　達彦, 角田　渓太, 池中　建介, 奥野　龍禎, 中森　雅之
大阪大学医学部附属病院　脳神経内科

第 2 会場

末梢神経障害・MG

座長：三井　良之
（近畿大学　医学部教育センター／脳神経内科）

9:30～10:15

B-01　エフガルチギモド皮下注製剤が有効であった抗 Neurofascin155 抗体陽性自己免疫性ノドパチーの一例

○國貞　友梨[1], 西居　正汰[1], 野田　佳克[2], 島谷　佳光[1], 石原　広之[1]
[1]加古川中央市民病院　脳神経内科 [2]中田医院

B-02　免疫グロブリン静注療法にステロイドパルス療法追加し症状改善を認めたギラン・バレー症候群の 1 例

○長澤　開, 辻　有希子, 松岡　千紘, 毛受　奏子, 北大路　隆正, 田中　瑛次郎, 尾原　知行
京都府立医科大学　脳神経内科

B-03　抗 GT1a IgM 抗体単独陽性を認め、頸部・上肢痛を伴った急性感覚性失調性ニューロパチーの 1 例

○波多野　かれん, 北河　啓斗, 赤澤　伸司, 津田　陽樹, 孝橋　睦生, 石尾　ゆきこ,
柳原　千枝
神戸市立西神戸医療センター

B-04　アクティブタッチ（能動的触知覚）の障害を呈した急性感覚失調性ニューロパチーの 1 例

○滋賀　健介[1], 宮城　浩輔[2], 足立　沙瑛子[1], 田邑　愛子[1]
[1]松下記念病院　脳神経内科 [2]松下記念病院　総合診療科

B-05　胸腺腫合併重症筋無力症の増悪時に薬疹様皮疹で発症した胸腺腫関連多臓器自己免疫（TAMA）の一例

○横井　秀平, 吉田　匡伸, 奥田　真也, 中澤　貴志, 菱田　洋輔, 高倉　凌, 石田　光拡,
森内　俊達, 寺田　祐太, 篠藤　祐也, 小松　研一, 金子　鋭
医学研究所　北野病院　脳神経内科

若手奨励賞候補演題（初期研修医・学生） 1

座長：中森　雅之
（大阪大学　神経内科）

木村　卓
（兵庫医科大学　脳神経内科）

10:20～11:05

B-06　flip-flop phenomenon を機序に繰り返す脳梗塞を経験した 1 例

○都　大哉[1], 高田　真利子[1], 松井　啓悟[1], 都留　朝希[1], 松野　泰幸[1], 矢幡　悟大[1], 小田　哲也[1], 細見　雅史[2], 濱口　浩敏[1]
[1] 北播磨総合医療センター　脳神経内科 [2] 北播磨総合医療センター　リハビリテーション科

B-07　外来維持療法中の再増悪を契機に進行大腸癌が判明した抗 MuSK 抗体陽性重症筋無力症の 1 例

○古市　絢菜[1], 山本　敦史[2], 石井　健太[2], 徳田　直輝[2], 小椋　史織[2], 松浦　啓[2], 西田　有騎[2], 白土　新菜[2], 芦田　真士[3], 永金　義成[2]
[1] 京都第二赤十字病院　教育研修推進室 [2] 同　脳神経内科 [3] 京都府立医科大学　脳神経内科

B-08　肺腺癌長期寛解後に多発脳神経障害を呈した中枢神経系転移の 1 例

○高橋　誠司, 福永　晃久, 上田　紗希帆, 綾木　孝, 松本　理器
京都大学　医学部　附属病院

B-09　小脳失調が主症状であった進行性核上性麻痺の 1 剖検例

○大澤　暉[1,2], 松尾　宏俊[2], 田原　沙佑美[3], 濱田　新七[3], 三樹　奈央[4], 丹藤　創[5], 伊東　恭子[5]
[1] 近江八幡市立総合医療センター　臨床研修センター [2] 同　脳神経内科 [3] 同　病理診断科
[4] 京都府立医科大学大学院　臨床病理学 [5] 同　分子病態病理学

B-10　慢性炎症性脱髄性多発神経炎の再発に肺腺癌の関与が疑われた 1 例

○金澤　匠眞, 吉村　賢二, 高木　あかり, 森畑　宏一, 三枝　隆博
大阪市立総合医療センター　脳神経内科

若手奨励賞候補演題（初期研修医・学生）2

座長：伊藤　義彰
（大阪公立大学　脳神経内科）

尾原　知行
（京都府立医科大学　脳神経内科）

11:10～11:55

B-11　抗血小板薬とスタチンが奏効した脳低灌流に伴う右下肢 chorea の一例

○近藤　毅[1], 高橋　俊哉[2], 沼　侑佐[2], 平野　早香[2], 加納　萌子[2], 杉山　智子[2], 八杉　凌平[2], 北川　理[2], 今村　久司[2], 松井　大[2]
[1]大津赤十字病院　卒後臨床研修センター[2]大津赤十字病院　脳神経内科

B-12　片側核間性眼筋麻痺、対側滑車神経麻痺、両側眼瞼下垂から病巣局在を解読した中脳梗塞の 1 例

○河本　由希[1], 木村　公俊[1], 渡邊　圭崇[1], 岡　良祐[1], 中山　丈夫[1], 秋月　修治[2], 後藤　和哉[3], 須田　謙史[4], 西村　幸司[5], 辻　賢太郎[6], 綾木　孝[1], 眞木　崇州[1], 松本　理器[1]
[1]京都大学医学部附属病院　脳神経内科[2]同院　免疫膠原病内科[3]同院　皮膚科/かゆみセンター
[4]同院　眼科[5]同院　耳鼻咽喉科・頭頸部外科[6]同院　病理診断科

B-13　偽性尺骨神経麻痺を呈した左中心溝周囲の急性期脳梗塞の一例

○宮本　卓弥, 杉山　誠治, 山本　寛, 和田　英貴, 小河　秀郎
公立甲賀病院

B-14　17 年の長期経過で呼吸筋麻痺に至った孤発性 Parkinson-ALS 複合 (Brait-Fahn-Schwartz disease)の一例

○今井　傑人[1], 梅村　ゆりあ[2], 柴田　益成[2], 濱田　雄一[2], 田村　暁子[2]
[1]京都大学　医学部 5 回生[2]住友病院　脳神経内科

B-15　脊髄炎との鑑別を要した頭蓋頚椎移行部硬膜動静脈瘻の 1 例

○藤岡　晃平[1], 櫻井　玲[1], 梶川　隆一郎[2], 村田　篤哉[1], 安食　孝洋[1], 杉山　慎太郎[1], 階堂　三砂子[1], 藤村　晴俊[1], 都築　貴[2], 小林　潤也[1]
[1]堺市立総合医療センター　脳神経内科[2]堺市立総合医療センター　脳神経外科

筋・腫瘍

座長：松村　剛
（国立病院機構大阪刀根山医療センター　脳神経内科）

13:20～13:56

B-16　LMNA 遺伝子 p.(K515Sfs*35)変異によるラミノパチーが疑われた 1 例

○堀　昂平[1], 中山　宜昭[1], 西野　一三[2], 宮本　勝一[1]
[1]和歌山県立医科大学　脳神経内科 [2]国立精神・神経医療研究センター　疾病研究第一部

B-17　呼吸筋麻痺を主症状とし孤発性成人発症ネマリンミオパチーの合併も考慮した多発性骨髄腫関連アミロイドミオパチーの 1 例

○山崎　真, 田中　智大, 畑　俊嘉, 田村　亮太, 矢端　博行, 塚本　剛士, 小橋　修平,
玉木　良高, 小川　暢弘, 山川　勇, 漆谷　真
滋賀医科大学　医学部　脳神経内科学講座

B-18　近位筋力低下と首下がりを呈した成人発症グルタル酸血症 2 型の 1 例

○赤澤　伸司[1], 北河　啓斗[1], 羽多野　かれん[1], 津田　陽樹[1], 孝橋　睦生[1], 石尾　ゆきこ[1],
吉田　晶子[2], 吉岡　正博[2], 柳原　千枝[1]
[1]神戸市立西神戸医療センター　脳神経内科 [2]同腫瘍内科

B-19　脳生検で診断しえた血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫（IVLBCL）の一例

○金井　柾也, 西川　徹, 中嶋　拳也, 古田　充, 寺崎　泰和
独立行政法人労働者健康安全機構　関西労災病院　脳神経内科

第 3 会場

炎症性疾患

座長：三枝　隆博
（大阪市立総合医療センター　脳神経内科）

9:30～10:15

C-01　自己免疫性視神経障害と鑑別を要した乳頭炎型 Vogt-小柳-原田病の 1 例

○高木　淳裕[1], 安食　孝洋[1], 丸山　耕平[2], 鷲尾　隆公[1], 櫻井　玲[1], 杉山　慎太郎[1,3], 階堂　三砂子[1,3], 藤村　晴俊[1], 沢　美喜[2], 小林　潤也[1]
[1]堺市立総合医療センター　脳神経内科 [2]堺市立総合医療センター　眼科
[3]堺市立総合医療センター　遺伝診療科

C-02　左頚静脈孔周囲占拠性病変により Collet Sicard 症候群を呈した一例

○馬野　知雛, 田中　義大, 今井　啓輔, 山田　丈弘, 沼　宗一郎, 額田　遼太郎, 小林　史弥, 大林　宏旗, 中田　康貴, 舟橋　慶宜
京都第一赤十字病院　脳神経脳卒中科

C-03　非全身性血管炎性ニューロパチーの診断 5 年後に脳梗塞を繰り返した顕微鏡的多発血管炎の 1 例

○藤井　涼平, 刀坂　公崇, 古東　秀介, 古結　裕之, 辻　麻人, 的場　健人, 尾谷　真弓, 関口　兼司, 千原　典夫
神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科学

C-04　頚椎症を背景に急速に神経症状が増悪した脊髄サルコイドーシスの 1 例

○貝沼　美夏, 古結　裕之, 中安　翔一, 刀坂　公崇, 辻　麻人, 的場　健人, 尾谷　真弓, 古東　秀介, 関口　兼司, 千原　典夫
神戸大学大学院医学系研究科　脳神経内科学

C-05　FDG-PET/CT で検出された骨病変の生検により診断した神経サルコイドーシスの 1 例

○阪口　和希, 蒔田　直輝, 吉崎　駿, 東本　祐樹, 村田　翔平, 牧野　雅弘
京都岡本記念病院

脳炎・脳症 1

座長：武田　景敏
（大阪公立大学　脳神経内科）

10:20～11:05

C-06　多発脳病変の出現と消失を繰り返し、免疫療法で改善の得られた抗 gamma aminobutyric acid（GABA）A 受容体抗体脳炎の一例

○鈴木　逸太[1], 古谷　裕季子[1], 米田　行宏[1], 原　誠[2], 上田　健博[1]
[1]兵庫県立尼崎総合医療センター脳神経内科 [2]日本大学医学部内科学系神経内科学分野

C-07　血漿交換療法が奏効した抗 GABA-B 受容体抗体陽性辺縁系脳炎の一例

○三宅　麻友, 秀嶋　信, 福島　遥, 杉原　礼一, 岡田　佳樹, 早野　絵梨, 村田　尚,
仲谷　利栄, 杉浦　由理, 横江　勝
市立豊中病院　脳神経内科

C-08　アナキンラが奏功した Cryptogenic new-onset of refractory status epilepticus (C-NORSE)の一例

○林　亮佑, 中野　智仁, 田中　碧, 新藤　有夏, 宮内　雅樹, 濱本　暁子, 隅　寿恵, 中　隆
市立東大阪医療センター

C-09　リツキシマブ導入後に著明な改善を認めた新規発症難治性てんかん重積状態 (C-NORSE)の 1 例

○清水　大輝, 江左　佳樹, 中井　智規, 和田山　智哉, 森山　拓也, 白旗　恵美, 小川　拓也,
木村　陽子, 岡崎　周平
国立病院機構　大阪医療センター

C-10　構音障害を呈したレジオネラ肺炎に伴う可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症の 1 例

○日野　嵩仁, 加藤　直子, 安藤　功一, 長谷川　浩史
滋賀県立総合病院

脳炎・脳症 2

座長：関口　兼司
（神戸大学　脳神経内科）

11:10～11:55

C-11　胸腺腫合併重症筋無力症に自己免疫性脳炎を合併した 1 例

○山中　大輔, 上原　佑里香, 水戸　淳大郎, 谷田　麻実, 藤原　瑛子, 八木　康至,
渡邊　将平, 笠間　周平, 木村　卓
兵庫医科大学病院　脳神経内科

C-12　脳炎様症状で発症し，急性期に Arterial Spin Labeling(ASL)で血流の変動を認めた神経核内封入体病の 1 例

○山野　敏基, 神野　隼輝, 金　理恵, 北村　慧介, 池上　剛史, 村上　泰隆, 西田　福子,
橋本　弘行
大阪けいさつ病院　脳神経内科

C-13　アルコール依存症患者においてビタミン B1、B12 補充下で発症したペラグラ脳症の一例

○坂東　美樹, 清家　尚彦, 安西　浩毅, 岩本　宗矩, 原　敦, 寺澤　英夫, 清水　洋孝,
瓦井　俊孝, 上原　敏志
兵庫県立はりま姫路総合医療センター　脳神経内科

C-14　意識障害と両上肢不随意運動を繰り返し診断に苦慮した 1 例

○青木　陽平, 吉田　愛菜, 石口　宏
新宮市立医療センター　脳神経内科

C-15　進行性認知機能低下とびまん性白質病変を呈した HIV 関連認知症と脳アミロイドアンギオパチーの一例

○奥田　健太[1], 前川　嵩太[1], 前田　周吾[1], 太田　和馬[1], 野村　倫子[1], 石井　淳子[1],
吉村　元[1], 尾原　信行[1], 幸原　伸夫[1], 川本　未知[1], 大倉　敬之[2]
[1]神戸市立医療センター中央市民病院　脳神経内科 [2]同感染症科

感染症・自律神経

座長：松井　大
（大津赤十字病院　脳神経内科）

13:20～13:56

C-16　多発脳神経障害，点状脳梗塞で発症し，治療抵抗性に増悪した侵襲性アスペルギルス症の 1 例

○清家　尚彦[1]，坂東　美樹[1]，安西　浩毅[1]，岩本　宗矩[1]，原　敦[1]，寺澤　英夫[1]，瓦井　俊孝[1]，清水　洋孝[1]，小松　正人[2]，西村　翔[3]，上原　敏志[1]
[1] 兵庫県立はりま姫路総合医療センター　脳神経内科 [2] 病理診断科 [3] 感染症内科

C-17　遅発性髄液圧上昇が先行した *Cryptococcus* 髄膜炎後 PIIRS の 1 例

○杉田　希美香[1]，清水　幹人[1]，林　友豊[1]，大岡　洋子[1]，館　哲郎[2]，西田　武生[2]，山本　司郎[1]
[1] 兵庫県立西宮総合医療センター　脳神経内科 [2] 兵庫県立西宮総合医療センター　脳神経外科

C-18　グリコピロニウムトシル酸塩水和物ワイプの不適切使用により片側散瞳をきたした一例

○北村　悠真[1]，高田　真利子[2]，松井　啓悟[2]，都留　朝希[2]，松野　泰幸[2]，矢幡　悟大[2]，小田　哲也[2]，濱口　浩敏[2]
[1] 北播磨総合医療センター　臨床研修センター[2] 北播磨総合医療センター　脳神経内科

C-19　進行耳下腺癌に伴う起立性低血圧による失神に放射線治療が有効であった 1 例

○松野　泰幸，高田　真利子，松井　啓悟，都留　朝希，矢幡　悟大，小田　哲也，濱口　浩敏
北播磨総合医療センター　脳神経内科